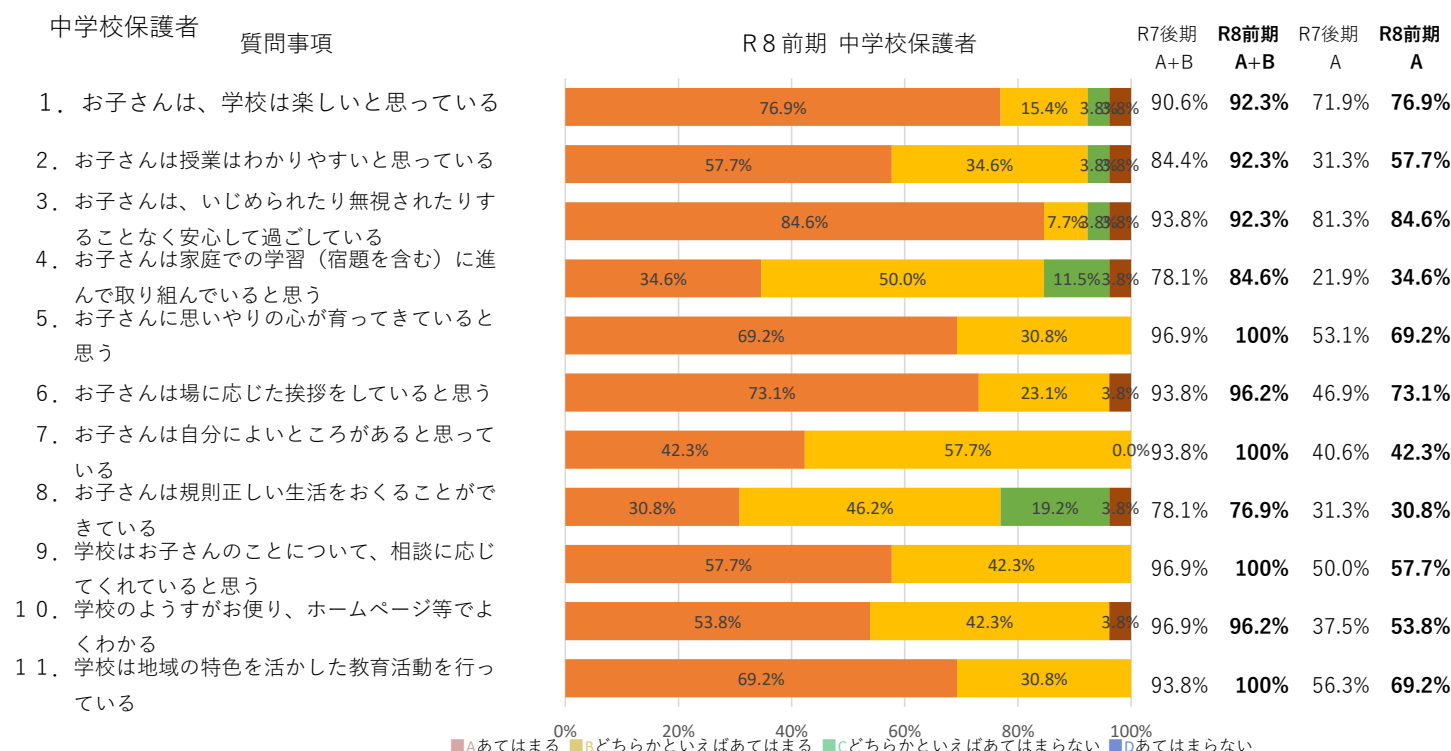
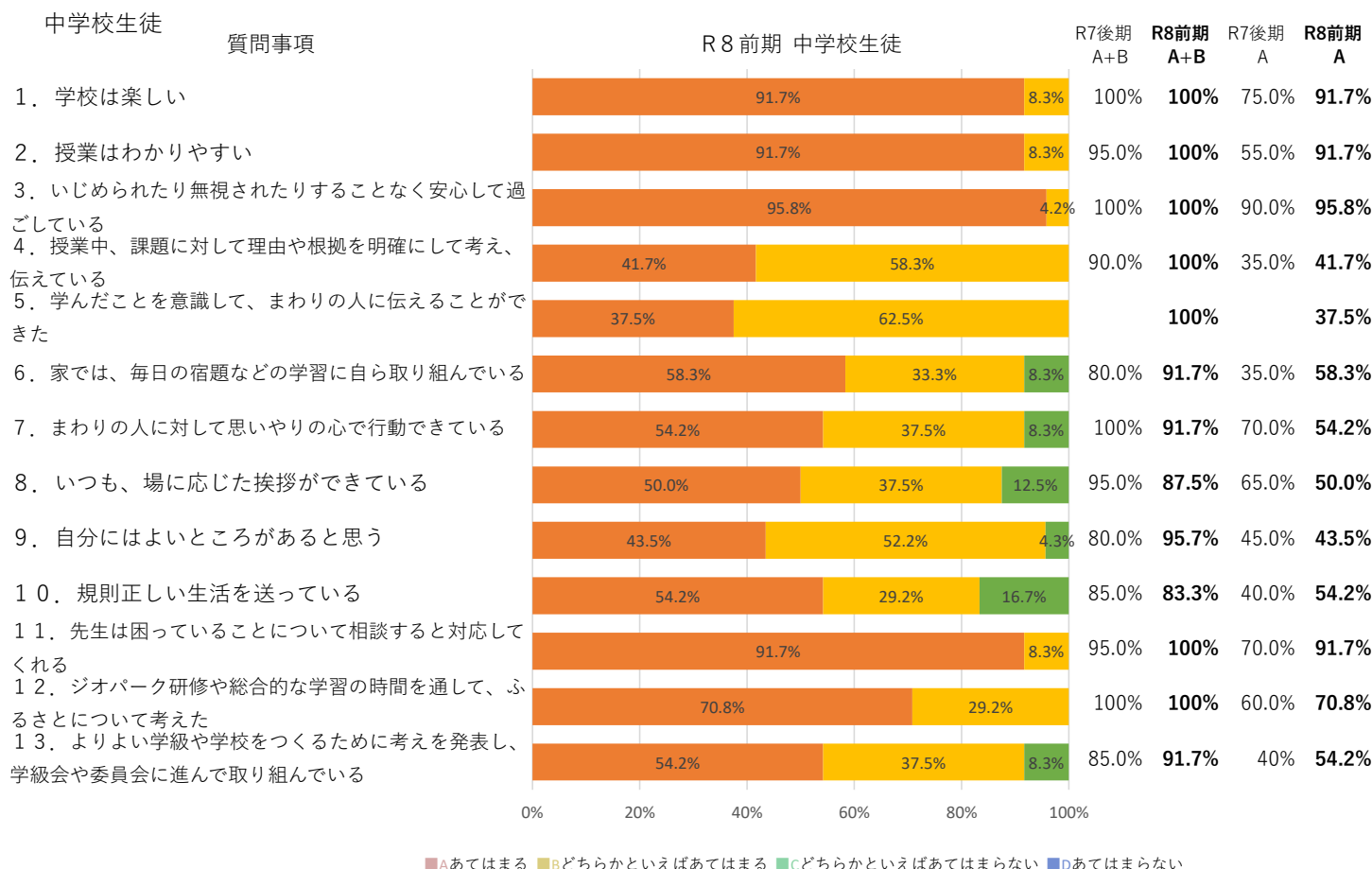
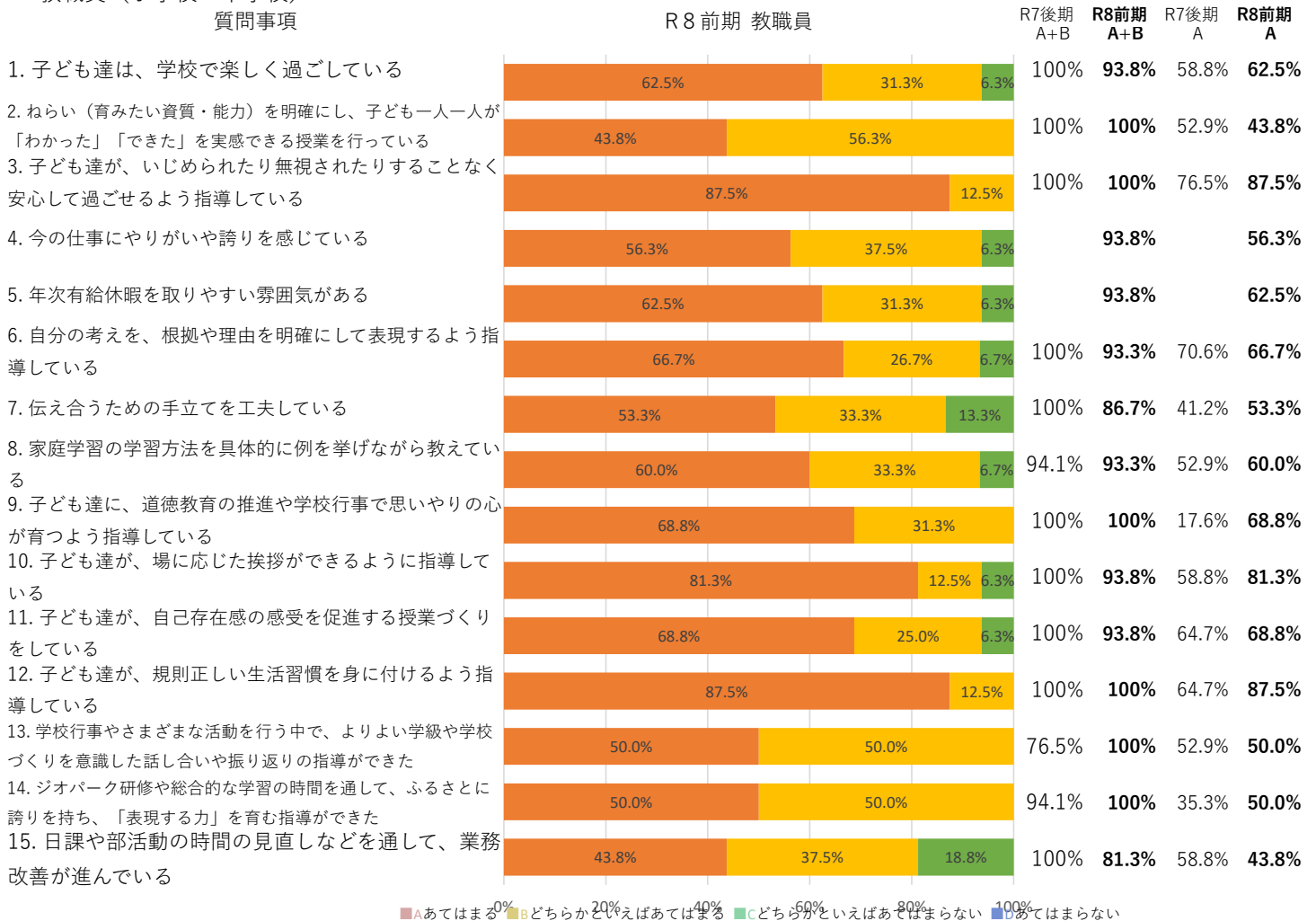


令和 8 年度前期 学校アンケート集計結果等について

白露の候、保護者の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。日頃より本校の教育活動に多大なるご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。前期学校アンケートの集計結果をお知らせいたします。今後この結果を踏まえ、教職員一同、一層の改善に努めて次年度につなげていきたいと考えております。



教職員（小学校＋中学校）
質問事項



【よかった点○と課題▲と改善点☆】

（学習面について）

○家庭学習について、A評価、A+B評価どちらも概ね昨年度より高い数値が見られました。自ら家庭学習に取り組めると実感している生徒が増えてきましたが、まだ十分に家庭学習に向き合えていないと感じている生徒もいます。

☆学習コンテストは生徒にとって学習に取り組む一つのきっかけになっていたので、今後も継続したいと思います。

○研究の課題の「学んだことを意識してまわりの人に伝えることができた」A+B評価では、生徒の回答が100%でした。

☆伝え合いの際は、教師が視点を明確にして活動させ、既習事項や生徒の言葉を生かした板書を工夫します。

伝え合いの手立ての工夫を、教員間で情報共有し、充実した伝え合いを行っていききたいと思います。

（生徒指導面について）

○学校は楽しい A評価5月77.3% → 91.7% （A+B100%）に増加しました。

「楽しい学校」とはどんな学校か、「自信を持って力を発揮し頑張ることができる、大変だけど協力して達成感を得られる」など、生徒自身が楽しい学校とは何か見つめ直した上で現状を評価できるようになってきました。

☆引き続き生徒同士の人間関係づくりの場を設定し、認め合う姿を評価していきたいと思います。

○規則正しい生活について、A評価5月50%→54.2%。昨年度の課題から、生活リズムアップウィーク前に事前評価を行うことで、基準を一定にすることができました。また、日々のメディア時間を自身で設定し取り組ませることで、より課題が明確となり焦点化することができました。

☆メディア時間が依然として多い生徒は、今後も個別に様子を見ていきます。気になることがあれば改善できるよう声かけを行います。

○自分には良いところがある A+B評価 2025後期80% → 95.7%

○朝講話や副担との関わり、価値づけた褒め認めに加え、生徒同士による他者理解を促す取り組みの成果が少しずつ現れはじめています。

☆行事を通して生徒一人ひとりが活躍できる環境を整えます。教師や生徒からの他者評価を行い、自分の良いところに気づかせます。

（学校運営協議会を受けて）

○家庭でも挨拶ができるようになってきた。

☆夏のジオパーク研修でボート体験をした手取湖の水位が低下していることなど、研修での体験を生かし、地域の身近な自然に関心をもちより身近に感じてほしい。